

## I 目指す学校像

### <教育目標>

- くじけぬ心とたくましい体を鍛える
- 高い知性と豊かな情操を養う
- 自律・互敬の精神を培う

### <目指す学校像>

- 「より高い目標と夢に向かってチャレンジできる学校」
  - 1 確かな学力、心身共に健康な体力を身に付ける学校
  - 2 高い目標を目指して挑戦し、実社会で逞しく生き抜く力を磨く学校
  - 3 未来を切り拓く力を身に付け、グローバル社会で活躍できる生徒を育成する学校

## II 中期的目標と方策

### <目 標>

- 1 知ることの喜びや知ることの方法を学び、知的好奇心を弾みに主体的に学習に取り組む態度を育成し、深い学びの実現を目指す。
- 2 組織的な進路指導を行い、より高い目標の実現を目指すとともに、進学実績を向上させる。
- 3 特別活動への取組を通して豊かな人間性や資質を育み、自主性や他者への貢献の心を涵養する。
- 4 凡事徹底を実践し、社会人として通用する規範意識の確立を図るとともに、安全・安心な学校生活を送れる環境を整備する。
- 5 心身共に健康な生活を送れるよう健康保持や体づくりを進めるとともに、相談できる体制を充実する。
- 6 国際理解教育を進め、多様性を尊重し共生社会の実現に向けて貢献できる人材の育成に努める。
- 7 教育内容や教育活動の成果などを発信し、広く都民に信頼される学校づくりを進める。
- 8 全教職員が学校経営計画を組織目標として共有し、その実現を図るため創造的な教育活動を展開する学校経営を目指す。

### <方 策>

- 1 探究的な活動を推進し、自立的に学ぼうとする姿勢を養うとともに、生徒一人一人に応じた指導を行う。
- 2 進路指導部、学年及び教科の連携により、きめ細かい指導とデータ分析及び定点観測による進路指導を行う。
- 3 部活動や学校行事において、努力することの大切さや達成感を体感させ、仲間への連帯感や学校への帰属意識を育成する。
- 4 あらゆる機会を通して、社会人として通用するマナーを身に付けさせるとともに、学習環境等の整美に努める。
- 5 保健指導等を通して心身の健康管理の意識を高めるとともに、生徒・保護者の相談体制を整える。
- 6 JETとの交流や国際交流事業等を活用して「生きた英語」を習得させ、グローバルな視点を育成する。
- 7 保護者・地域及び中学校等に対してホームページ等を通して教育活動を積極的に情報発信し、募集対策の充実を図る。
- 8 ICTを活用するなどして、企画調整会議を核に学年会、分掌部会、経営企画室との情報の確実な共有により組織的な校務運営に努める。

### Ⅲ 今年度の目標と方策

#### 1 学習指導

##### <目 標>

生徒の高い学力の定着と教員の教科指導力の向上

##### <方 策>

- (1) 教科指導力の向上を図ることを通して、難関大学にも果敢にチャレンジできる学力を身に付けさせる。
- (2) 教員相互の授業参観を行い、授業改善に向けた校内研修を実施する。
- (3) 考査・実力テスト、外部模試や授業評価を基に教科としての課題を明確にし、補習・講習を組織的に実施する。
- (4) 大学入試改革を見据えた研究・開発を行う。
- (5) 生徒の知的好奇心を醸成するために、読書活動を奨励する。
- (6) 自習室、自習机等の活用を図り、自学自習を定着させる。

#### 2 進路指導

##### <目 標>

「進学指導推進校」として、高い志をもたせる指導

##### <方 策>

- (1) 5教科7科目共通テスト受験率を高め、生徒が第一志望にチャレンジできるよう3年間を見据えた進路指導体制を確立する。
- (2) 個別面談、3者面談(全員実施)の充実を図り、生徒一人一人に応じたきめ細かい進路指導を行う。
- (3) 迅速なデータ検証を基に分析会・ケース会議を実施し、教科指導の改善、指導に反映させる。
- (4) 進路講演会や訪問授業等を実施し、進路実現に向けた生徒の内発的動機付けを促す。
- (5) 教科毎に、組織的な長期休業中の講習を実施し、生徒の軸足を学校に置いた指導を行う。
- (6) スプリングセミナー、オータムセミナー等での体験学習を通して視野を広げ、夢に向かって自分のやるべきことを考えさせる。

#### 3 特別活動・部活動

##### <目 標>

学校行事、部活動の活性化

##### <方 策>

- (1) 学校行事への取組を通して、自主的、主体的な活動を推進する。
- (2) 学校行事の精選を行い、部活動と学習活動をバランスよく両立させる。
- (3) 部活動休養日を設定した部活動指導方針を明確にし、体罰や行き過ぎた指導のない部活動で、生徒の個性を磨く。
- (4) 部活動指導員及び外部指導員を活用し、部活動指導の効率的なシステムを整備する。
- (5) 東京2020オリンピック・パラリンピック後のレガシーを見据えた取組を行う。

#### 4 生活指導

##### <目 標>

社会人としての規範意識の涵養

##### <方 策>

- (1) あらゆる機会を通じて「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを指導し、社会人として通用するマナー、ルールを身に付けさせる。
- (2) 自転車の交通ルール・マナー指導を徹底するとともに、危険回避能力を育成する。

## 5 保健・相談活動

### <目 標>

個々の生徒に配慮した教育活動

### <方 策>

- (1) 体罰根絶、いじめの未然防止、早期発見・対応を行う。
- (2) スクールカウンセラーと連携した教育相談体制を充実させる。
- (3) 防災教育の充実を図り、「自助」「共助」の精神を養う。
- (4) 薬物乱用防止やセーフティ教室等を通して、心身共に健全な生徒の育成を図る。

## 6 国際理解教育

### <目 標>

系統的・計画的な国際理解教育の推進

### <方 策>

- (1) 英語教育推進校、TEEP推進校としての活動の充実を図るとともに、海外語学研修、スピーチコンテスト、海外修学旅行などを系統的に実施する。
- (2) ALTやJETを活用して「使える英語」「生きた英語」を身に付けさせ、国際理解教育を推進する。

## 7 募集・広報活動

### <目 標>

積極的な情報発信

### <方 策>

- (1) ホームページを通して日常の教育活動を適時に情報発信する。
- (2) 過去の地区別入学生データを分析し、その結果を基に戦略的な中学校・塾訪問を行う。
- (3) 近隣地域との交流を積極的に行い、本校の特色をPRするとともに、存在感を高める。
- (4) 校内・外における学校説明会、塾訪問及び学校見学会、授業公開を実施する。

## 8 学校経営・組織体制

### <目 標>

経営参画意識と協働意識の醸成

### <方 策>

- (1) 主幹会議、企画調整会議、職員会議等、各会議の運営改善及び業務の効率化を図る。
- (2) 校内イントラ等を活用し、ペーパーレス化の推進を図り、迅速な情報共有を行う。
- (3) 経営企画室の業務進行管理と合理化を徹底し、経営参画型の経営企画室として機能させる。
- (4) 組織的かつ効率的な業務の遂行を基に、教職員のライフワークバランスの充実を図る。

#### IV 今年度の重点目標（数値目標）

- 1 学習・進学指導の充実
  - (1) 授業満足度 85%以上 (②79% ①77%)
  - (2) 5教科7科目共通テスト受験率 50%以上 (②43% ①53%)
  - (3) 国公立大学合格者 70名以上 (②58名 ①73名)
  - (4) 難関私立大学合格者 40名以上 (②49名 ①25名)
  - (5) GMARCH合格者 200名以上 (②234名 ①189名) ※ 延べ数
  - (6) 家庭学習時間 1年：2時間 2年：3時間
  
- 2 部活動・特別活動の推進（昨年度実績）
  - (1) 学校満足度 90%以上 (②85% ①89%)
  - (2) 行事満足度 90%以上 (②85% ①88%)
  - (3) 部活動加入率 95%以上 (②95% ①92%)
  
- 3 国際理解教育推進
  - (1) 国際理解度教育満足度 90%以上 (②81% ①82%)
  
- 4 学校広報活動の充実
  - (1) 学校説明会参加者数 1, 900名以上 (②1, 900名 ①1, 839名)
  - (2) 中学校・塾訪問数 260校以上 (②260校 ①207校)
  - (3) 入学選抜応募率（推薦）男子 2.80以上 (②2.75倍 ①2.08)
  - 女子 4.30以上 (②4.27倍 ①2.36)
  - （一般）男子 1.60以上 (②1.58倍 ①1.24)
  - 女子 1.70以上 (②1.62倍 ①1.38)
  
- 5 一般需要費のセンター執行割合 55% (②40% ①50%)

※ ②：令和2年度 ①：令和元年度